

仕様

仕様 器具	定格電圧	消費電力	適合ランプ
RBW5632H	交流 100V	13W	日立ナイスボールV EFD15EL/13（口金:E26）

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名 電話
ご購入年月日 年 月 日

 日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話 (03) 3255-5256

取扱説明書
保 存 用

日立蛍光灯器具

HITACHI
Inspire the Next

人検知センサーつき
蛍光灯ポーチライト

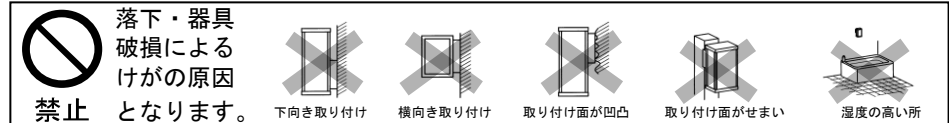
RBW5632H [防雨形]

- このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
 - お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保存してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- この器具は、壁面取り付け専用です。
- このような場所には、取り付けない。



- 器具の取り付け工事は、電気工事店（有資格者）に依頼する。
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- アース工事は、電気設備技術基準のD種接地工事に従って作業する。
*アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。
*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。
*過熱し、火災の原因となります。

⚠ 注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 必ず指定のランプを使用する。
*器具の異常過熱の原因となります。
- 浴室などの湿気が多い場所や常時温度の高い場所（35℃以上）では、使用しない。
*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- お手入れの際や、ランプ交換の際は、必ず電源を切る。
*感電の原因となります。
- 点灯時および消灯直後は、電球が熱くなっているので触らない。
*やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。
*器具の落下によるけがの原因となります。
- 調光器（当社商品名ライトロール）との併用はしない。
*過熱し、火災の原因となります。

器具を取り付ける前に

■一つの壁スイッチには1台でご使用ください。(一つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)

●器具は検知エリアを考慮して設置してください。

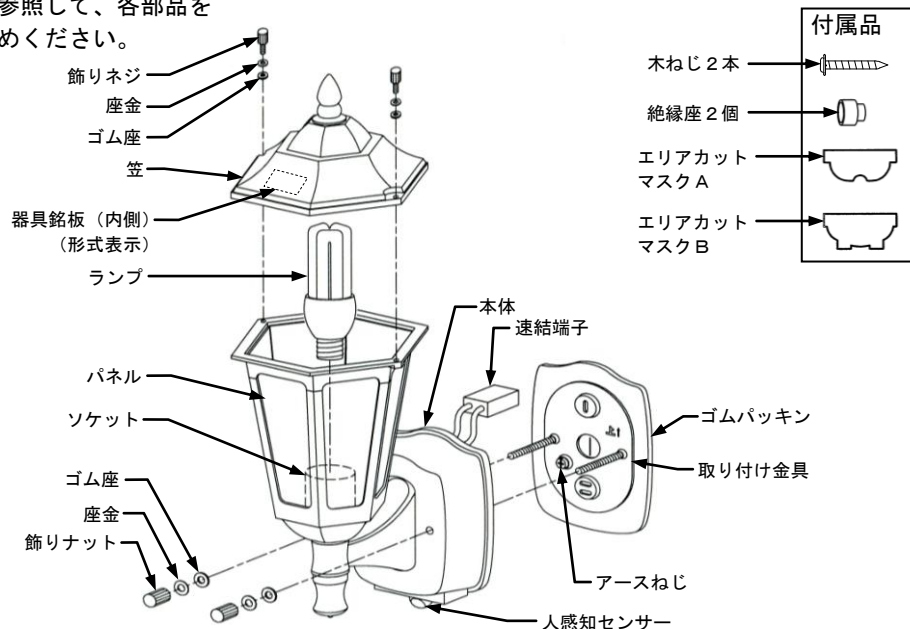
●次のような場所には、取り付けない。(誤作動したり、動作しない場合があります。)

 禁止	大理石などの反射の強い床面がある場所	屋間でも暗い場所(木かげ、ひさしの下など)	車のヘッドライトなどの強い光が当たる場所
	エアコンや換気扇の排気口が近くにある場所	夜間でも明るい場所(他の照明の光がセンサーに当たる場所)	交通量の多い道路に面した場所
	検知エリア内に風などで揺れるのれんや植物などがある場所	前面に障害物のある場所(透明なガラスも含む)	

各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。

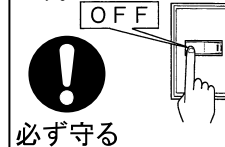


保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、電球の交換の際は必ず電源を切る。

*感電の原因となります。



■器具のお手入れ

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたきおとす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
- *石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)



■みがき粉やベンジンなどでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない。

*傷、変色の原因となります。



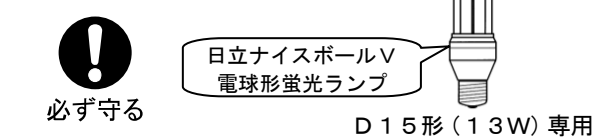
■点灯時および消灯直後は電球が熱くなっているので、触らない。

*やけどの原因となります。



■必ず指定の電球を使用する。

*指定以外の電球を使用しますと、器具が過熱し火災の原因になります。



アフターサービス

●もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

現象	考えられる原因	処置
検知範囲に人がいるのに100%の明るさで点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている	壁スイッチ(電源)をONにしてください
	ランプが切れている	ランプを交換してください
	点灯照度設定レバーで設定した明るさよりも周囲が明るい	点灯照度設定レバーにて設定を変更してください(P4参照)
	人が静止している	静止している人では検知できません
検知範囲が狭い	検知範囲が適切でない	検知範囲を調整してください(検知部を動かす)(P4参照)
	検知部が汚れていたり、蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないように拭き取ってください
	器具に向かって真っ直ぐ接近している	器具に向かって真っ直ぐに接近した場合はより近づかないと検知しない場合があります(正常動作)
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている	本センサーは温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります(正常動作)
	暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない	
検知範囲に人がいないのに100%点灯している ※2秒間以内の停電により連続点灯になることがあります、異常ではありません	検知範囲内に人以外の熱源がある(例)白熱灯照明器具・エアコンの吹き出し口・風などでよく揺れるもの(植木、旗など)・車の熱やヘッドライト・犬や猫などの動物・強い風、雨、雷	本センサーは温度変化を検知するため左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合、センサーが反応することがあります。検知エリアから反応するものを取り除いてください
	壁スイッチをONにした直後又は停電が回復した直後	壁スイッチON後、約4～5秒間は必ず点灯します(正常動作)
	連続点灯になっている	壁スイッチをOFFにして(4秒以上)再びONにしてください
人がいなくなってもなかなか消灯に戻らない	連続点灯になっている	壁スイッチをOFFにして(4秒以上)再びONにしてください
周囲が明るいのに100%点灯する	連続点灯になっている	壁スイッチをOFFにして(4秒以上)再びONにしてください
	点灯照度設定レバーが「テスト」になっている	レバーを「暗」又は「明」に合わせる(P4、P5参照)
連続点灯に切り替えができない	連続点灯切替え操作が間違っている	センサー機能について(P5)の連続点灯をご確認ください。
連続点灯が解除されている	連続点灯継続時間が8時間を超えた	連続点灯は最長8時間です

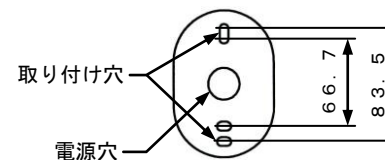
●なお、対策を行っても同じ現象が続く場合は直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に器具の形式(器具銘板に表示してあります)、現象を連絡のうえご相談ください。

器具の取り付けかた

必ず電源を切ってから作業をしてください。

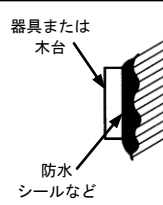
1. 本体の取り付け

- (1) 取り付け金具の方向を合わせ、電線を取り付け金具に通し、付属の木ねじ2本と絶縁座2個で補強材のある所に取り付けてください。



必ず守る

取り付け面に凹凸がある場合は、防水性能を保つため、防水シールなどで器具または、木台の取り付け面とのすき間を埋める。



禁止

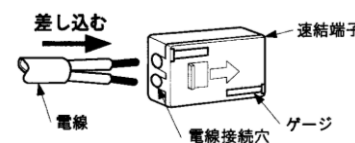
プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない。
*プラスチック製アウトレットボックスに取り付けますと、器具の落下の原因となります。

- (2) 電線を連結端子に接続してください。

接続のしかた

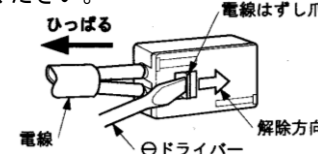
- 電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

- 適用電線...φ1.6、φ2.0単線



解除のしかた

- ⊖ドライバーを電線はずし爪を解除方向に強く押し、電線をひっぱってください。



- (3) アース線をアースねじに接続してください。

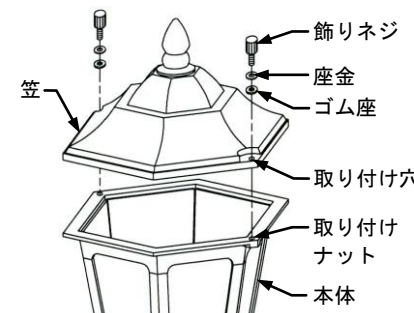
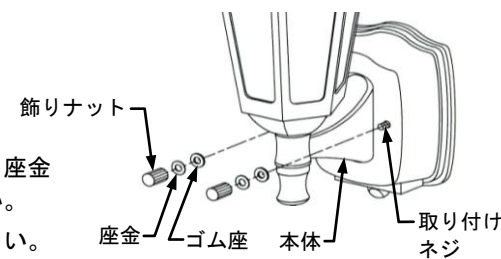


アース線は、必ずアースねじに接続する。
*アースが不完全な場合、感電の原因となります。

- (4) 本体を取り付けネジに通し、ゴム座、座金飾りナットで確実に固定してください。

- (5) ランプをソケットにねじ込んでください。

- (6) 笠の取り付け穴と本体の取り付けナットの位置が合うように笠を本体にのせ、飾りネジに座金、ゴム座が通してあることを確認してから、飾りネジで確実に固定してください。



必ず守る

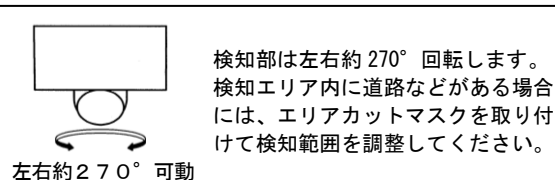
取り付けましたら、確実に取り付けられているか確かめる。
*取り付けに不備がある場合、感電落下の原因となります。

- (7) 電源を入れ、点灯確認をしてください。

センサーの名称

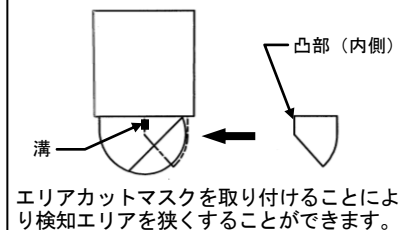
検知範囲について

- 検知部を動かすことによって検知範囲を変えることができます。
- 検知範囲は下図のような範囲で調整できます。
- 検知部を動かしてお好みの検知範囲を設定してください。
- エリアカットマスクを使用し、検知範囲を限定させることができます。状況に合わせてお使いください。



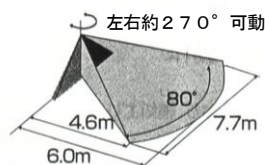
エリアカットマスクの取り付けかた

付属のエリアカットマスクの内側の凸部をセンサー検知部側面にある溝にはめてください。

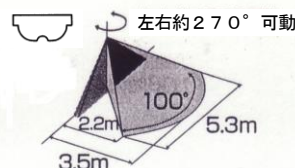


■センサーの検知範囲図（目安）

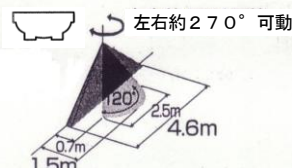
- エリアカットマスクなし（センサー高さ2.0m）



- エリアカットマスクA使用時（センサー高さ2.0m）



- エリアカットマスクB使用時（センサー高さ2.0m）



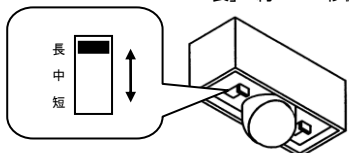
故障ではありません

- 注）本センサーは人の動きなどの温度変化分を検知するため、人以外の熱源（動物や車など）が移動したときも検知する場合があります。
- 注）検知範囲は目安です。下記の様な場所では検知範囲が変化します。
- 検知範囲は気温、服装、人の移動速度、進入速度、人の温度、器具の取り付け高さ、取り付け面の傾きなどにより変化します。
 - 夏場など気温が体温に近い温度になると温度変化分が小さくなり、検知範囲は小さくなります。また、雨の日も検知範囲が小さくなる場合があります。
 - 器具に向かってまっすぐに接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。

センサーの設定レバー（スイッチ）について

点灯時間設定レバー（スイッチ）

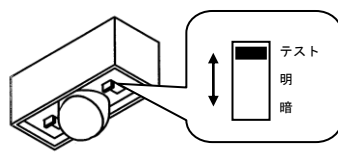
- 点灯モードを3つから選択できます。
- 「短」：約30秒後に消灯します。
- 「中」：約60秒後に消灯します。
- 「長」：約180秒後に消灯します。



出荷時は「短」に設定してあります。

点灯照度設定レバー（スイッチ）

- 点灯させる周囲の明るさを選択します。
- 「暗」：約15ルクスから点灯します。
- 「明」：約45ルクスから点灯します。

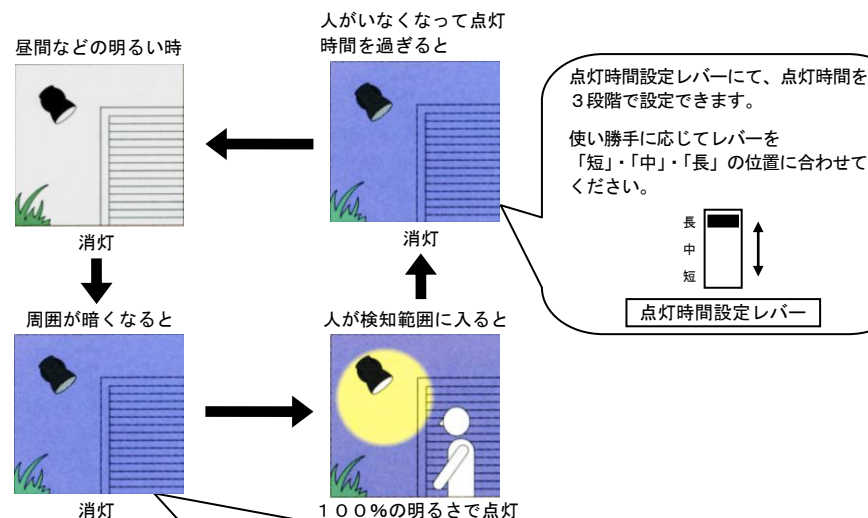


出荷時は「暗」に設定してあります。

センサー機能について

ON-OFFモード 人が近づいた時だけ明るくしたい

1. 壁スイッチをOFFにしてください。
2. 点灯時間設定レバーにてお好みの点灯時間を設定してください。
3. 点灯照度を設定レバーで合わせ、センサの働き始める周りの明るさを決めてください。



センサーが働き始める周りの明るさを2段階で設定できます。
「明」位置にすると、薄暗くなると動作するようになります。
環境によって動作状況が変わりますので状況に応じてレバーを「明」・「暗」どちらかの位置に合わせてください。
「テスト」にした場合は周囲が明るくても、人を検知し点灯します。明るい状態でも点灯させたい時、検知エリア確認及びエリアカットマスク調整の際にご利用ください。



4. 壁スイッチをONにしてください。

注）壁スイッチをONにした直後（約45秒）は周囲の明るさに関係なくランプが点灯しますが、異常ではありません。
注）壁スイッチは常にONにした状態でご使用ください。

連続点灯（8時間） 人がいなくてもずっと点灯してほしい

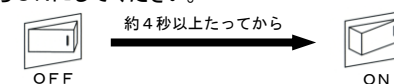
- 壁スイッチを操作すると周囲の明るさ、人の検知に関係なく点灯させておくことができます。

1. 壁スイッチを一度OFFにしてください
2. すばやくONにする（100%点灯になる）



* 約8時間たつと消灯し元の設定モードに戻ります。

- 連続点灯を解除する時又は、連続点灯中にセンサー待機状態に切り替える場合は、OFFにして4秒以上たつてからONにしてください。



* 「ON」直後は電球が点灯⇒消灯になりますが故障ではありません。
約1分後に設定したモードで動作します。